

2025（令和7）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1490100292	事業の開始年月日	平成27年4月1日
		指定年月日	平成27年4月1日
法人名	株式会社メディカルケアシステム		
事業所名	グループホームちいさな手 横浜つるみ		
所在地	(230-0002) 神奈川県横浜市鶴見区江ヶ崎町20-16		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	2025.12.10	評価結果 市町村受理日	令和8年3月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

最期までその方らしく住み続けて頂けるよう、職員サポートの元、今までの生活を大切にしながらご本人の望む生活が送れるよう、お一人お一人の思いに寄り添う支援を行っております。職員は医療・介護のプロフェッショナルとして関わられるよう意見交換を行いチームケアの実践を行っております。近隣には公園や郷土資料館・スーパーもあり、お散歩やお買い物に出掛けられる環境にあります。夏祭りや御神輿、防災訓練、学童保育との交流などに参加し、地域の方々を通じた世代間交流を行っております。防災訓練では、地域と連携しながら災害対策を行っております。レクリエーションも充実しており、非日常や季節感を感じて頂けるよう、レクリエーションの企画を入居者様の声も大切に実施しております。園芸にも力を入れており、野菜の種まきから収穫まで、入居者様に教えて頂きながら、皆様で楽しく活動しております。お一人お一人の生活を大切に、施設の枠にとらわれず、地域の中で安心して生活できるよう支援させて頂いております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和8年1月14日	評価機関 評価決定日	令和8年3月20日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、JR「川崎」駅から臨港バスに乗車、バス停「江ヶ崎」にて下車、徒歩3分の場所にあります。法人は主に神奈川県で20ヶ所以上の高齢者入居施設を運営しており、法人内で多数の勉強会を開催し職員育成に注力しています。

<優れている点>

ハロウィンには事業所を来訪した近隣学童保育の児童にお菓子を手渡し、協力医療機関からの音楽ボランティアを受け入れるなど、地域交流に取り組んでいます。職員が地域の防災訓練に参加して災害対策の知識を得ており、入居者が地域住民の一員として安否確認の対象ともなり、開設10年を経て事業所の存在が地域との継続的なつながりに努めています。また、特定技能生に翻訳アプリを用いて業務内容を説明し、介護記録の読み書きを教えるなどの協力体制でチームケアを実践しています。さらに、職員のアイデアを積極的に取り入れ、特定技能生がベトナム料理を振る舞う場を設けたり、誕生会ではジュンプライド姿の入居者の写真撮影など、多様なレクリエーションを実施し、職員がやりがいを持って働ける環境づくりにつながっています。

<工夫点>

運営推進会議の開催曜日を変更したことで家族参加の増加を実現しています。書面による家族の意見聴取に取り組み、運営推進会議における家族の思いや意見の共有を図っています。今年度は敬老会イベントと家族会、運営推進会議を同日開催とし、家族・地域・事業所の結びつきを深める取組を重ねています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホームちいさな手 横浜つるみ
ユニット名	1 F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	入職時のオリエンテーションで、新人ハンドブック、クレドカードを用いて理念に基づき就業するよう説明しております。就業してからは、ミーティングで理念について再確認を行ったり、毎朝朝礼で理念の唱和を行い、実践につなげております。	入職後も法人主催のマネジメント研修で法人理念の学びを深めています。朝礼の唱和は、理念を生きた言葉として捉え、初心に戻って日頃のケアを振り返る場として位置づけています。法人理念に基づき作成した事業所理念では、チームケアを主眼とした姿勢を明示しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に参加しており、地域のイベントにも参加しております。御神輿では施設の駐車場を休憩所として提供し、地域の方との交流を図っております。近隣の学童保育との交流や小規模多機能ホームの運営推進会議に参加しています。	地域住民との相互関係を積極的に築いています。地区防災訓練に職員が参加して地域の災害対策への知見を得ています。また、「黄色いリボン」の安否確認活動にも参加しています。ハロウィンでは来訪した学童保育の児童に菓子を手渡したり、ギターと歌の音楽ボランティアを受け入れるなど、地域に開かれた運営を実践しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	お散歩や近所のスーパーなどへのお買い物を通じ、地域の方とのふれあいを大切にしております。運営推進会議では入居者様のご様子やホームでの活動をお話させて頂いております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では日々の入居者様のご様子やホームでの活動を報告し意見交換を行っております。また、ご家族様・地域の方々よりご意見や情報を頂き、ホームの運営に活用させて頂いております。	運営推進会議を、家族が参加しやすく率直な意見交換ができる場として整備しています。家族の参加促進に向けて、開催曜日の変更や書面による意見聴取や、メールを活用した出欠確認に取り組んでいます。会議では職員異動の報告や、ヒヤリハット事例も伝達し、参加メンバーから率直な疑問や意見を聴取できる貴重な機会としています。	運営推進会議の開催報告書には、事業所の取り組みへの質疑応答、地域行事や認知症に関する情報を多数記載しています。会議内容の更なる周知として、家族などへ配付することが期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議のご案内・報告をさせて頂いております。	地域ケアプラザとの協力関係を築き、横浜市の指導を活かした事業所運営を実践しています。地域ケアプラザへ定期的に空き情報や月刊広報紙を持参し、新規入居者の紹介を受けた後はホームでの暮らしぶりを伝えるなど連携を深めています。横浜市の集団指導や運営指導を受け、アドバイスに沿った運営に取り組んでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	委員会や研修、フロアカンファレンスなどで身体拘束について再確認し、ケアの実践につなげております。入居者様にとってその人らしい生活ができるよう安全に配慮し見守りを行っております。身体拘束を行った実績はありません。	身体的拘束ゼロに向けた学びと実践を徹底し、職員間の共通認識を入居者支援に反映しています。毎年職員全員がチェック表で自己評価を継続し、課題点を委員会で検討し、研修で周知を図っています。拘束を行わない一方で想定外のリスクについても話し合うなど、日頃から職員間の共通認識を確認しています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	委員会や研修を実施し、虐待について再確認をしております。入居者様の状態をスタッフ同士で確認できるよう、申し送りで情報共有し早期発見に努めております。接遇マナー研修を通して言葉遣いや姿勢・態度の学び機会を設けたり、日頃より意識し、スタッフ同士良いケアができるよう声を掛け合っております。	虐待防止に向けた組織的な取組を継続しています。委員会では虐待発生 の 要因分析を周知し、職員が互いに助け合う職場風土の醸成に取り組んでいます。管理者は入居者・職員双方にとって心地よいケアや笑顔につながるケアを言語化して伝え、職員用自己点検シートと組織体制チェックリストによる評価を継続しています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度に関しまして、利用されている入居者様もいらっしゃいます。管理者は自ら学び、スタッフへも説明できるよう努めて参ります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には契約書・重要事項説明書を説明し、疑問点や質問には十分な説明を行い契約をしております。また、不明な点、不安な点は個々にご説明させて頂いております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や面会などで来所された際・メールや電話にてご意見、ご要望をお伺いしております。また、「ご意見箱」を設置しいつでもご意見をいただけるようにしております。	家族との信頼関係を築くため、多様な機会を通じた意見聴取に取り組んでいます。電話やメールで入居者状況を連絡する際には、何気ない会話の中に家族の思いや意見を捉えています。家族来訪時や運営推進会議、家族会など折に触れて意見を聴取し、開催曜日変更や白癬菌への対処法などの質問には丁寧に回答を心がけています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に個人面談を行い意見交換を行っております。日頃から一人一人に声を掛け、業務改善提案をしやすい環境づくりに努めております。いつでも相談をしやすい関係性づくりに努め職員の声を一つ一つ大切にしよう努めております。	職員が率直に意見を伝えられる職場環境づくりに取り組んでいます。管理者は日頃から職員意見の聴取を心がけ、職員も働き方や介護方法、シフト状況などを率直に伝えています。フロアカンファレンス前には職員個々が業務分担の見直しやOJTの進行確認などを「気付きノート」に書き込み、会議の成果を高めています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人一人に役割を持たせ、責任を持って業務遂行してもらう中で、やりがいと充実感を持てるよう努めております。業務の統一化も図り誰もが働きやすい職場環境づくりに努めております。事務員を採用しタスクシェアに取り組んでいます。	職員が働きやすい環境と入居者支援の標準化に継続的に取り組んでいます。業務の流れをスケジュール表で可視化し、輪番制の業務担当の仕組みづくりにより標準化を図っています。家庭環境を考慮したシフト編成や有給休暇取得の促進、就労規則の説明など職場環境を整備しています。法人ではキャリアパスシートを作成中です。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者は法人内の会議に参加させて頂き、ホームへ持ち帰りミーティング時に情報伝達を行い共有しています。また、外部研修に参加し学ぶ機会を設けております。日々の業務の中でも困った時などは実際に介助しながら指導し技術向上に努めております。	法人全体で職員育成を重視し、チームケアの精神を実践しています。資格取得や認知症介護実践者研修への費用補助など職員の成長を支援しています。特定技能実習生には日本語習得のサポートとして講座受講を推奨し、翻訳アプリを用いた介護記録の読み書き指導など協力体制を整え、チームケア精神を組織全体で体現しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内では定期的な管理者会議、マネジメント研修・ケアマネジャー研修など行い、他ホームとの意見交換を行い環境の違いやケアの違いを知り学ぶ機会を作っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	実態調査を丁寧に行い、ご入居者様が新しい環境に馴染んで頂けるよう、コミュニケーションを行い傾聴する事で安心して過ごして頂けるよう努めております。入居後も入居者様らしい生活を続けられるよう取り組んでおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様の入居者様への思いやこれまでの経緯について丁寧に伺い、ホームとしてどのようなケアができるか一緒に考え、その都度情報共有をしながら、ご家族様にも安心して頂けるよう信頼関係構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様やご家族様の思いやその時の状況等確認し、安心して納得してご利用頂けるよう、可能な限り柔軟な対応に努めております。また必要なサービス情報の提供を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様の気持ちに寄り添い、尊厳を守りながら、お手伝い頂ける事を一緒にお手伝い頂き、その人らしさを大切にしながら、共に生活していく関係性を築いております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様とご本人様との関係を十分に理解し配慮をしながらご家族様と共にご本人様を支えております。毎月ご家族様宛にご本人様の様子をお手紙にて報告させて頂いております。面会時にも口頭で近況報告を行い、情報共有をしております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会やお手紙・お電話などのお取次ぎは基本的に自由にして頂いております。初めて来所される方などはご家族様へ確認し安心して関係構築できるよう支援しております。ご友人の方や近所に住んでいた方の来訪もあり関係性の継続に努めております。	入居者が家族や地域とのつながりを継続できるよう支援しています。自立度の高い利用者も多く、正月を自宅で過ごしたり、家族との墓参りや出身校へのドライブを楽しむ人もいます。近隣の友人が来訪してお茶を飲みながら語り合う場面もあり、面会前に利用者の状態変化を伝えるなど関係継続への配慮を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個別支援を大切にしながらも、入居者様同士関わりが持てるよう、1、2階合同で行事を行ったり、日常でもコミュニケーションが円滑に行えるよう職員が働きかけ、一人ひとりが孤立しない様交流を図っております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後もお手紙を出させて頂き、ご家族様と繋がりを持てるよう努力しております。運営推進会議に参加をして頂いたり、ご家族様よりお手紙を頂戴したり、ホームへご挨拶にいらっしゃるご家族様もいらっしゃいます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様の尊厳を大切にし、安心して生活して頂けるよう、日々の様子や意向を把握し、ご本人本位であり、ご家族様の希望・要望に添えるよう無理のないケアプラン作成を心掛けております。	入居者一人ひとりの尊厳維持を大切にし、家族との情報共有に写真を活用しています。利用者との会話の中で、子ども時代や大人になってからの思い出などの時代背景を推察しながら個人の尊厳維持に配慮しています。家族来訪時の面談では日常生活の様子を写真とともに振り返り、家族から情報を引き出す機会としても活用しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの生活歴やライフスタイル、介護サービスご利用状況などお伺いし、ご本人様にとって最適なサービスの提供ができるよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のバイタル測定、食事、水分摂取量の確認、排泄、睡眠時間、生活の様子を記録し職員間で情報共有できるよう努めております。健康面では訪問医との連携に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご入居者様の様子を共有し、職員、医師、看護師の意見を伺いながら、カンファレンスを行い、定期的に見直しし、ご家族様へご説明させて頂いております。ご本人様からは「わかってシート」を用い普段の様子から思いが汲み取れるよう聞き取りをしています。また、LIFEのデータも活用しながら評価・課題の抽出をしています。	ケアプランを3ヶ月ごとに見直し、看護師が医師と入居者・家族をつなぐ情報連携により入居者一人ひとりに応じた支援を実践しています。介護記録・連絡ノート・申し送りノートなどと医療関連情報を全職員で検討し、「私をわかってシート」を活用し日常の聴き取りも記録しています。LIFEデータを口腔ケアに活かすため訪問歯科医との調整も進めています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランに沿ったケアが行えるよう介護計画を確認しながら、日常の様子を記録し、毎月のカンファレンスで意見を出し合い、改善点など見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	可能な限り、ご入居者様のニーズにあったサービス提供ができるよう配慮した個別対応を心掛けております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の行事に参加させて頂いたり、散歩やスーパー等への買い物に出かけることで、近隣住民の方との交流を通し豊かな暮らしを楽しんで頂けるよう努めております。駐車場の花壇整備や清掃など一緒に行い近隣の方とご挨拶をする機会を設けています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回の訪問診療、週1回の訪問歯科、看護師と連携を取り支援しております。ご家族様にも必要に応じて看護師からの適切な説明をして頂いております。	看護師が医療連携の調整を担い、入居者・家族と医療機関をつないでいます。入居時に主治医変更の説明を行い、ほぼ全員が主治医を変更しています。定期訪問の内科医・歯科医との連携は訪問看護記録や医療連携ノートを活用して看護師が調整し、入退院時にも双方の医療情報をつないでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1～2回の看護師による健康面のチェックと把握を行っております。訪問看護記録や医療連携ノートにて入居者様の健康状態を職員で把握し早期発見、早期対応に努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医、看護師と密に連携を図り、入退院の際は看護サマリーを作成し、情報交換を行っております。その都度様子を伺ったり退院に向けた話し合いに参加させて頂いております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時にホームでの看取り指針をご説明し、書面にて承諾を頂いております。ご入居様の状況を確認しながら、ご家族様、主治医、看護師、ホーム長、ケアマネージャーとの意向を調整し、密に連携を取り支援させて頂いております。	看取りに向けた合意形成を大切にし、入居者・家族・医師と連携した支援体制を整えています。看取りの指針では一定の条件のもとで双方の同意により検討することを明示し、その時期には医師の判断と家族の意向を踏まえた看取りプランを作成しています。ホームでできること・できないことを双方で話し合っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応マニュアルの活用や看護師からの勉強会を通じて、職員の初期対応ができるよう努めております。緊急時の連絡体制の強化にも努めております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に2回消防訓練を実施しております。地域の防災訓練にも参加させて頂いております。BCPでは対策の見直しを定期的に行い、訓練・研修を通して業務継続が行える体制の構築に努めております。	地域と連携した防災・安全対策に継続的に取り組んでいます。年間の消防訓練はいずれも自主訓練で実施し、近隣小学校での地域防災訓練にも参加しています。地域で行っている「黄色いリボン」を玄関ドアに結ぶ、安否確認訓練に参加しています。BCP(事業継続計画)は計画作成・周知・研修へと取組を進めています。	消防署の立ち合いによる訓練の実施と、実地での評価・意見を次につなげることが期待されます。また、近隣住民の訓練参加も期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様の人格や尊厳を大切にし、トイレ、入浴、着替え時はプライバシーが守れるよう配慮しております。	個人の誇りに配慮し、その時々のお話からその人の人生背景を読み取りながら注意を払っています。入浴の脱衣時のカーテンや、トイレ使用時のドア開閉にもプライバシーへの配慮を徹底しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の希望を尊重した上で、何が必要かを考え、自己決定できるよう働きかけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調や様子を伺いながら、ご本人様のお気持ちやペースに合わせて、その方らしさを感じられるよう支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	これまでの生活習慣でもある爪切りや髭剃り、お化粧などお一人お一人のケアを大切にしております。毎月の訪問理美容では入居者様のご意向を尊重しております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	お一人お一人のお好みを伺い、お食事を楽しむ事ができるよう心がけております。楽しく食事ができる雰囲気作りをしております。お手伝い頂ける事はお声掛けをし、野菜の収穫、下準備、盛り付け、片付け等お願いしております。	外部からの調理済食材を活用しながら、手作りや工夫で食事の豊かさを大切にしています。ご飯とみそ汁はホームで手作りし、盛り付けに工夫を凝らしています。毎月の行事食やデザートはみんなで手作りし、共に実施しています。自前栽培のキュウリ・サツマイモ・プチトマトで季節感を取り入れながら新鮮な食材を食卓に加えています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	お一人お一人の状態にあったお食事・水分を提供し、無理なく摂取して頂けるよう支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアのお声掛けを行っております。必要に応じて訪問歯科診療を行い口腔内の状態を保っております。丁寧な口腔ケアを行うことで低栄養・肺炎予防にも努めております。LIFEのデータを活用しながら口腔内状態の評価に努めております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を活用し、排泄パターン、排泄前後の様子を把握し、ご自身でできる事を大切にしながら、お声掛けや誘導を行っております。	排泄の自立支援を大切にし、一人ひとりのリズムに合わせたトイレ誘導を実践しています。24時間表記のチェック表から排泄時間を読み取り、前後の様子・素振りを把握したうえでトイレ誘導を実施しています。「見守りと待ち」を基本に、声掛けのタイミングや言葉にも自立を促す思いを大切にしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	日々の排便状況を把握し、食事、水分、運動など予防に努めております。医師や看護師と相談をしながらお薬での調整も行っております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本週に2回入浴をして頂いております。お体の状態によりシャワー浴や清拭で対応もしております。またご希望により、毎日入浴されているご入居者様もいらっしゃいます。	入居者の希望や状態に合わせた多様な入浴支援を実践しています。希望があれば毎日の入浴も対応し、夕方の時間帯にも対応しています。全身入浴・シャワー浴・清拭などの部分浴に加え、1階に特殊浴槽を備えています。ヒートショック予防のため温度管理にも配慮しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中もご本人様の意思で過ごす場所を選択しいつでも休息できるよう様子観察をしております。入床前は安心してお休み頂けるようお声掛けを行ったり、居室の温度調整をし安眠できるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	お一人お一人の薬の注意点や変更時は看護師と連携をとり看護記録にて職員間で情報共有しております。服薬セットや与薬時は複数の職員で確認を行い、服薬ミスがないよう努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その方にあった役割や楽しみを見出し、清掃、洗濯、調理、テーブル拭きなどお声掛けをし、その方らしく生き生きと過ごせるよう支援しております。また、レクリエーションやお散歩、お買い物などの外出機会も設け気分転換の支援をしております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節や体調を考慮し外出時間を考えながら、外気浴・お散歩・買い物など外出する機会を設けております。感染対策に気を付けながら、ご家族様との外出も自由にして頂いております。	入居者が外出する機会を積極的に設け、家族との外出も促しています。計画的な外出行事も実施し、近隣の動物公園や三ツ池公園などヘッドライブに出かけています。日常では神社やスーパーへの買い物や、玄関外の駐車場やリビングに続くウッドデッキでの外気浴も取り入れています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的にホームでの現金所持はしておりません。お財布が心配な方はご家族様とご相談しながら対応しております。お買い物などでは立替払いをし、お支払い時はご本人様にお支払い頂き社会生活が維持できるよう支援させて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様へのお手紙やお電話などご希望がある方に対して、お取次ぎできるよう支援させて頂いております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	5S活動を通して居心地のよい環境づくりを行い、定期的な清掃や、整理整頓、室温管理など快適な空間作りに努めております。季節の雰囲気も楽しんで頂けるようカレンダー作りや工作など、ご入居者様と一緒に作成しております。	担当表による定期清掃を実施しています。ヒートショック予防も含め、リビング・台所・トイレ・脱衣場・廊下の温度管理を行っています。照明はLED球を使用しカーテン開閉で入居者が過ごしやすい明るさを確保しています。壁面には季節の行事をカレンダーや工作物で表現し、季節感を取り入れた環境づくりをしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ゆったりと過ごして頂けるよう開放し、歌を歌ったり、談話されたり、自由に安心して過ごせる空間作りに努めております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族様やご本人様と相談し、使い慣れた家具や日用品などで安心して居心地よく過ごして頂けるような居室作りをしています。また整理整頓を行い安全に過ごして頂けるよう努めております。	入居者が安全で快適に過ごせる居室環境の整備に取り組んでいます。エアコンや介護用ベッドはホームの設備として備え、小机や椅子などを持ち込んでいます。各居室では安全確保と動線の確保に配慮し、居室担当者が常に整理・整頓に気を配っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりや段差など安全に考慮した作りになっており、エレベーターもあり車椅子でも行き来できるようになっております。		

事業所名	グループホームちいさな手 横浜つるみ
ユニット名	2 F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	入職時のオリエンテーションで、新人ハンドブック、クレドカードを用いて理念に基づき就業するよう説明しております。就業してからは、ミーティングで理念について再確認を行ったり、毎朝朝礼で理念の唱和を行い、実践につなげております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に参加しており、地域のイベントにも参加しております。御神輿では施設の駐車場を休憩所として提供し、地域の方との交流を図っております。近隣の学童保育との交流や小規模多機能ホームの運営推進会議に参加しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	お散歩や近所のスーパーなどへのお買い物を通じ、地域の方とのふれあいを大切にしております。運営推進会議では入居者様のご様子やホームでの活動をお話させて頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では日々の入居者様のご様子やホームでの活動を報告し意見交換を行っております。また、ご家族様・地域の方々よりご意見や情報を頂き、ホームの運営に活用させて頂いております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議のご案内・報告をさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	委員会や研修、フロアカンファレンスなどで身体拘束について再確認し、ケアの実践につなげております。入居者様にとってその人らしい生活ができるよう安全に配慮し見守りを行っております。身体拘束を行った実績はありません。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	委員会や研修を実施し、虐待について再確認をしております。入居者様の状態をスタッフ同士で確認できるよう、申し送りや情報共有し早期発見に努めております。接遇マナー研修を通して言葉遣いや姿勢・態度の学び機会を設けたり、日頃より意識し、スタッフ同士良いケアができるよう声を掛け合っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度に関しまして、利用されている入居者様もいらっしゃいます。管理者は自ら学び、スタッフへも説明できるよう努めて参ります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には契約書・重要事項説明書を説明し、疑問点や質問には十分な説明を行い契約をしております。また、不明な点、不安な点は個々にご説明させて頂いております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や面会などで来所された際・メールや電話にてご意見、ご要望をお伺いしております。また、「ご意見箱」を設置しいつでもご意見をいただけるようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に個人面談を行い意見交換を行っております。日頃から一人一人に声を掛け、業務改善提案をしやすい環境づくりに努めております。いつでも相談をしやすい関係性づくりに努め職員の声を一つ一つ大切にすることが努めております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人一人に役割を持たせ、責任を持って業務遂行してもらおう中で、やりがいと充実感を持てるよう努めております。業務の統一化も図り誰もが働きやすい職場環境づくりに努めております。事務員を採用しタスクシェアに取り組んでいます。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者は法人内の会議に参加させて頂き、ホームへ持ち帰りミーティング時に情報伝達を行い共有しています。また、外部研修に参加し学ぶ機会を設けております。日々の業務の中でも困った時などは実際に介助しながら指導し技術向上に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内では定期的な管理者会議、マネジメント研修・ケアマネジャー研修などを行い、他ホームとの意見交換を行い環境の違いやケアの違いを知り学ぶ機会を作っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	実態調査を丁寧に行い、ご入居者様が新しい環境に馴染んで頂けるよう、コミュニケーションを行い傾聴する事で安心して過ごして頂けるよう努めております。入居後も入居者様らしい生活を続けられるよう取り組んでおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様の入居者様への思いやこれまでの経緯について丁寧に伺い、ホームとしてどのようなケアができるか一緒に考え、その都度情報共有をしながら、ご家族様にも安心して頂けるよう信頼関係構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様やご家族様の思いやその時の状況等確認し、安心して納得してご利用頂けるよう、可能な限り柔軟な対応に努めております。また必要なサービス情報の提供を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様の気持ちに寄り添い、尊厳を守りながら、お手伝い頂ける事を一緒にお手伝い頂き、その人らしさを大切にしながら、共に生活していく関係性を築いております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様とご本人様との関係を十分に理解し配慮をしながらご家族様と共にご本人様を支えております。毎月ご家族様宛にご本人様の様子をお手紙にて報告させて頂いております。面会時にも口頭で近況報告を行い、情報共有をしております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	面会やお手紙・お電話などのお取次ぎは基本的に自由にして頂いております。初めて来所される方などはご家族様へ確認し安心して関係構築できるよう支援しております。ご友人の方や近所に住んでいた方の来訪もあり関係性の継続に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個別支援を大切にしながらも、入居者様同士関わりが持てるよう、1、2階合同で行事を行ったり、日常でもコミュニケーションが円滑に行えるよう職員が働きかけ、一人ひとりが孤立しない様交流を図っております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後もお手紙を出させて頂き、ご家族様と繋がりを持てるよう努力しております。運営推進会議に参加を頂いたり、ご家族様よりお手紙を頂戴したり、ホームへご挨拶にいらっしゃるご家族様もいらっしゃいます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様の尊厳を大切にし、安心して生活して頂けるよう、日々の様子や意向を把握し、ご本人本位であり、ご家族様の希望・要望に添えるよう無理のないケアプラン作成を心掛けております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの生活歴やライフスタイル、介護サービスご利用状況など伺いし、ご本人様にとって最適なサービスの提供ができるよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のバイタル測定、食事、水分摂取量の確認、排泄、睡眠時間、生活の様子を記録し職員間で情報共有できるよう努めております。健康面では訪問医との連携に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご入居者様の様子を共有し、職員、医師、看護師の意見を伺いながら、カンファレンスを行い、定期的に見直しし、ご家族様へご説明させて頂いております。ご本人様からは「わかってシート」を用い普段の様子からも思いが汲み取れるよう聞き取りをしています。また、LIFEのデータも活用しながら評価・課題の抽出をしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランに沿ったケアが行えるよう介護計画を確認しながら、日常の様子を記録し、毎月のカンファレンスで意見を出し合い、改善点など見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	可能な限り、ご入居者様のニーズにあったサービス提供ができるよう配慮した個別対応を心掛けております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の行事に参加させて頂いたり、散歩やスーパー等への買い物に出かけることで、近隣住民の方との交流を通し豊かな暮らしを楽しんで頂けるよう努めております。駐車場の花壇整備や清掃など一緒に行い近隣の方とご挨拶をする機会を設けています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回の訪問診療、週1回の訪問歯科、看護師と連携を取り支援しております。ご家族様にも必要に応じて看護師からの適切な説明をして頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1～2回の看護師による健康面のチェックと把握を行っております。訪問看護記録や医療連携ノートにて入居者様の健康状態を職員で把握し早期発見、早期対応に努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医、看護師と密に連携を図り、入退院の際は看護サマリーを作成し、情報交換を行っております。その都度様子を伺ったり退院に向けた話し合いに参加させて頂いております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時にホームでの看取り指針をご説明し、書面にて承諾を頂いております。ご入居様の状況を確認しながら、ご家族様、主治医、看護師、ホーム長、ケアマネージャーとの意向を調整し、密に連携を取り支援させて頂いております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応マニュアルの活用や看護師からの勉強会を通じて、職員の初期対応ができるよう努めております。緊急時の連絡体制の強化にも努めております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に2回消防訓練を実施しております。地域の防災訓練にも参加させて頂いております。BCPでは対策の見直しを定期的に行い、訓練・研修を通して業務継続が行える体制の構築に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様の人格や尊厳を大切にし、トイレ、入浴、着替え時はプライバシーが守れるよう配慮しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の希望を尊重した上で、何が必要かを考え、自己決定できるよう働きかけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調や様子を伺いながら、ご本人様のお気持ちやペースに合わせ、その方らしさを感じられるよう支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	これまでの生活習慣でもある爪切りや髭剃り、お化粧品などお一人お一人のケアを大切にしております。毎月の訪問理美容では入居者様のご意向を尊重しております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	お一人お一人のお好みを伺い、お食事を楽しむ事ができるよう心がけております。楽しく食事ができる雰囲気作りをしております。お手伝い頂ける事はお声掛けをし、野菜の収穫、下準備、盛り付け、片付け等お願いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	お一人お一人の状態にあったお食事・水分を提供し、無理なく摂取して頂けるよう支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアのお声掛けを行っております。必要に応じて訪問歯科診療を行い口腔内の状態を保っております。丁寧な口腔ケアを行うことで低栄養・肺炎予防にも努めております。LIFEのデータを活用しながら口腔内状態の評価に努めております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を活用し、排泄パターン、排泄前後の様子を把握し、ご自身でできる事を大切にしながら、お声掛けや誘導を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	日々の排便状況を把握し、食事、水分、運動など予防に努めております。医師や看護師と相談をしながらお薬での調整も行っております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本週に2回入浴をして頂いております。お体の状態によりシャワー浴や清拭で対応もしております。またご希望により、毎日入浴されているご入居者様もいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中もご本人様の意思で過ごす場所を選択しいつでも休息できるよう様子観察をしております。入床前は安心してお休み頂けるようお声掛けを行ったり、居室の温度調整をし安眠できるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	お一人お一人の薬の注意点や変更時は看護師と連携をとり看護記録にて職員間で情報共有しております。服薬セットや与薬時は複数の職員で確認を行い、服薬ミスがないよう努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その方にあった役割や楽しみを見出し、清掃、洗濯、調理、テーブル拭きなどお声掛けをし、その方らしく生き生きと過ごせるよう支援しております。また、レクリエーションやお散歩、お買い物などの外出機会も設け気分転換の支援をしております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節や体調を考慮し外出時間を考えながら、外気浴・お散歩・買い物など外出する機会を設けております。感染対策に気を付けながら、ご家族様との外出も自由にして頂いております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的にホームでの現金所持はしておりません。お財布が心配な方はご家族様とご相談しながら対応しております。お買い物などでは立替払いをし、お支払い時はご本人様にお支払い頂き社会生活が維持できるよう支援させて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様へのお手紙やお電話などご希望がある方に対して、お取次ぎできるよう支援させて頂いております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	5S活動を通して居心地のよい環境づくりを行い、定期的な清掃や、整理整頓、室温管理など快適な空間作りに努めております。季節の雰囲気も楽しんで頂けるようカレンダー作りや工作など、ご入居者様と一緒に作成しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ゆったりと過ごして頂けるよう開放し、歌を歌ったり、談話されたり、自由に安心して過ごせる空間作りに努めております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族様やご本人様と相談し、使い慣れた家具や日用品などで安心して居心地よく過ごして頂けるような居室作りをしております。また整理整頓を行い安全に過ごして頂けるよう努めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりや段差など安全に考慮した作りになっており、エレベーターもあり車椅子でも行き来できるようになっております。		

2025年度

事業所名

作成日： 2026 年 3 月 27 日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	紙媒体での介護記録運用により、記録時間に時間を要する、また職員間での情報格差が生じている。	電子記録システムを導入し、記録業務の効率化と情報共有の迅速化を図る。記録時間を削減し、ケアの質向上に繋げる	<ul style="list-style-type: none">全職員への操作方法の指導記録ルールの統一ICT担当者を設けサポート体勢の構築	6ヶ月